

合否印

合  
否

試験場

二年四組

氏名

初段( )

模範答案

問一 解答欄



楷書

行書

山	山
星	星
花	花
秋	秋
時	時

問二 解答欄

收養季祖母

問三 解答欄

うめはるかにきよそ  
のちれみなりを  
たかきよのよみみひと  
よれいあん

問四 解答欄



天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずと言へり。されば天より人を生ずるには、万人は万人、皆同じ位にして、生まれながら貴賤上下の差別なく、万物の霊なき身と心との働きをもちて、天地の間にあるよろづの物を資り、して衣食住の用を達し、自由自在、互ひに人の妨げをなすずして、おのゝ安樂に、あせを渡らしめたまふの趣意なり。

模範答案

第三回 宮崎県国際交流大会

期日 平成二十八年七月十六日(土)

会場 宮崎市文化ホール

主催 宮崎県国際文化振興会

後援 宮崎県教育委員会

合否印

合  
否

初段(1)

模範答案

試験場

二年一組

氏名

問一 解答欄

楷書

行書

山	山
星	星
花	花
秋	秋
時	時

問二 解答欄

牧養季祖母

問三 解答欄

うめはまのしきまのくちみやうを  
 きたまのよみひらぬいん

問四 解答欄

天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずと言へり。されば天より人を生ずるには、万人は万人、皆同じ位にして、生まれながら貴賤上の差別なく、万物の靈たる身と心との働きをもつて、天地の間にあるよろづの物を資り、もつて衣食住の用を達し、自由自在、互ひに人の妨げをなさずして、おのおの安樂にこの世を渡らうめたま心の趣意なり。

模範答案

期日・平成二十六年七月十六日(土)

会場・宮崎市民文化ホール

第三回宮崎県国際交流大会

主催・宮崎県国際交流振興会

後援・宮崎県教育委員会

合否印

合

否

試験場

一般年組

氏名

初段(1)

模範答案

問一 解答欄

9 楷書

行書

山	山
星	星
花	花
秋	秋
時	時

問二 解答欄

牧 養 季 祖 母

問三 解答欄

うめはまのきよさくのちれみちのれを  
 さきものみみんいかん

問四 解答欄

9

天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずと言へり。されば天より人を生ずるには、万人は万人、皆同じ位にして、生まれながら貴賤上下の差別なく、万物の靈たる身と心との働きをもつて、天地の間にあるよろづの物を資り、もつて衣食住の用を達し、自由自在、互ひに人の妨げをなさずして、おのおの安樂にこの世を渡らうめたまふの趣意なり。

(福沢諭吉「学問のすすめ」より)

模範答案

期間・平成二十八年七月十六日(土)

会場・宮崎市民文化ホール

第三回宮崎県国際交流大会

主催・宮崎県国際交流振興会

後援・宮崎県教育委員会

合否印

合

否

初段(1)

模範答案

試験場

年組

氏名

問一 解答欄

楷書

行書

山	山
星	星
花	花
秋	秋
時	時

問二 解答欄

牧 養 季 祖 母

問三 解答欄

うめはまのくにたまその  
ちれみなりをわ  
たまたまふの趣意なり

問四 解答欄

天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずと言へり。されば天より人を生ずるには、万人は万人、皆同じ位にして、生まれながら貴賤上下の差別なく、万物の靈たる身と心との働きをもつて、天地の間にあるよろづの物を汝身り、もつて衣食住の用を達し、自由自在、互ひに人の妨げをなせずして、おのおの安樂にこの世を渡らしめたまふの趣意なり。

模範答案

主 催 宮崎県国際交流振興会  
 後 援 宮崎県教育委員会

第3回宮崎県国際交流大会

⑨

期 日 平成28年7月16日(土)  
 会 場 宮崎市民文化ホール



合否印

合  
否

試験場

二年七組

氏名

初段(1)

模範答案

問一 解答欄

楷書  
行書

山	山
星	星
花	花
秋	秋
時	時

問二 解答欄

收養季祖母

問三 解答欄

うめはるかにきくくのちみみかひたや  
 十んちんあひらびんかん

問四 解答欄

天は人の上に人を造らず、人の下に人を造  
 らずと言へり。されば天より人を生ずるには、  
 万人は万人皆同じ位にして、生まれながら貴  
 賤上下の差別なく、万物の霊たる身と心との働き、  
 をもつて、天地の間にあるよろづの物を資りもつて  
 衣食住の用を達し、自由自在、互ひに人の妨げを  
 なさずして、おのおの安樂にこの世を渡らうめた  
 まの趣意なり。  
 (福沢諭吉「西洋事情」のすすめ「より」)

模範答案

①

期日 平成二十八年七月十六日(土)

会場 宮崎市民文化ホール

第三回 宮崎縣國際交流大會

主催 宮崎縣國際交流振興會

後援 宮崎縣教育委員會